

多様性を包摂した舞台チェックリスト

I. 企画・立案	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 「ストーリー」案の多様性包摂観点からの確認				
2. 「スタッフ」案の多様性包摂観点からの確認				
3. 「出演者」案の多様性包摂観点からの確認				
4. 「観客」の多様性包摂をめぐる計画の確認				
5. アクセシビリティ・合理的配慮のための予算策定・確保				
6. アクセシビリティのための助成金申請の検討				
7. 多様性を包摂した芸術分野の専門家との協働				
8. 多様な当事者（障害、SOGI、年齢、出身地等）との協働				
II. 劇場のブックイング	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 劇場最寄駅のアクセシビリティ確認				
2. 駅から劇場までの経路のアクセシビリティ確認				
3. 劇場入口から客席までの経路（ホワイエ含）のアクセシビリティ確認				
4. 観客用トイレのアクセシビリティ確認（多機能トイレ・ジェンダー配慮等）				
5. プライバシーを確保できるスペースの検討				
6. 客席のアクセシビリティ確認（車いす席等のサイトラインの確保含）				
7. 楽屋口から楽屋、楽屋から舞台への導線、舞台袖、舞台のアクセシビリティ確認				
8. 車でのアクセス・駐車場の確認				
9. 舞台装置等搬入口のアクセシビリティ確認				
10. 情報アクセシビリティ（字幕、手話通訳、視覚サポート等）をめぐる確認				
11. 劇場スタッフに対するアクセシビリティ・合理的配慮をめぐる経験・懸念点の聞き取り				
III. 台本作成	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 登場人物の多様性（年齢、国籍、SOGI、障害等）包摂				
2. 多様性をステレオタイプではなく「違いのスペクトラム」として描いているかの確認				
3. チャリティ・医学モデルではなく、社会モデルに基づいているかの確認				
4. 設定、表現、台詞、用語等が、誰かを傷つけたり、分断や対立を生まないかの確認				
5. そもそも全ての人々が異なり、同じ人でも状況や時によって異なることへの理解の確認				
6. 聴覚だけ、視覚だけで伝わる表現の工夫				
7. 台本の分量・上演時間の配慮（短さ・休憩等）				
8. 多様性を包摂した芸術の専門家・シナリオ・ドクターによる確認				
9. 当事者との協働				
10. 点字台本作成の検討				
11. 希望者への事前台本閲覧の検討				
IV. スタッフのリクルート	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 主催・共催・後援団体との多様性をめぐる協働				
2. 出資元の確保				
3. 演出家と演出プロセスにおける多様性包摂				
4. 制作スタッフと制作プロセスにおける多様性包摂				
5. プレイガイド等チケット担当との多様性包摂をめぐる調整				
6. 舞台監督と舞台監督プロセスにおける多様性促進				
7. 演出部スタッフと演出部の作業における多様性包摂				
8. 装置・大道具スタッフと装置・大道具をめぐる多様性包摂				
9. 音楽スタッフと音楽をめぐる多様性包摂				
10. 振付スタッフと振付プロセスをめぐる多様性包摂				
11. 照明スタッフと照明における多様性包摂				
12. 衣装・小道具スタッフと衣装・小道具をめぐる多様性包摂				
13. 音響スタッフと音響をめぐる多様性包摂				
14. 劇場スタッフと劇場内サービスの多様性包摂				
15. 多様性を包摂した芸術の専門家・シナリオ・ドクターとの協働				
16. 多様性と文化に関する経験を持つ若者との協働				
17. 当事者団体との協働				
18. 各部門へのアクセシビリティ施策の主流化				
19. アクセシビリティや合理的配慮のための専門家（手話通訳等）のリクルート				
V. キャスティング	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 俳優の多様性包摂				

2. 演奏者・ダンサー等の多様性包摂				
3. 手話通訳者や音声ガイド等の配置検討				
4. 出演者の多様性をめぐる表現（表現しないこと）の尊重				
VI. 舞台装置・大道具制作	ニーズ	予算	人員	バリア
1. スタッフ・出演者のアクセシビリティと観客の情報アクセシビリティを検討したデザイン				
2. 稽古場におけるスタッフ・俳優への配慮（本番に近い環境の創生含）				
3. バミリでは不十分な際の移動サポートの検討				
4. 触れるミニチュア舞台装置展示の検討				
VII. 音楽制作	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 楽譜の点字翻訳ニーズの検討				
2. 歌詞の多様性包摂観点からの確認				
3. 歌詞の字幕表示の検討				
4. 歌詞の手話通訳の検討				
5. 音やリズムに合わせて光や振動を生じる機器使用の検討				
VIII. 照明	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 照明の多様性包摂観点からの検討（フラッシュライトを使用しない等）				
2. 台詞の字幕表示の検討（表示する場合、舞台映写、タブレット使用方法も検討）				
3. （リラックス公演等における）客電使用の検討				
IX. 音響	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 音量や音の種類に関する多様性包摂観点からの検討（大音量にしない等）				
2. 視覚サポート・音声ガイド等の検討				
X. 衣装	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 多様性包摂観点からの衣装、演出家、出演者の話し合い				
2. 肌を露出するシーンをめぐる衣装、演出家、出演者の話し合いと配慮				
XI. 広報	ニーズ	予算	人員	バリア
1. フォーマットの組合せの工夫（ホームページ、ソーシャルメディア、チラシ等）				
2. ホームページにおけるフォント、読み上げ機能、キャプション、色覚多様性等の配慮				
3. 発信に先立つスタッフ・出演者に対する人権モデル・社会モデルについての情報共有				
4. チラシ等紙媒体へのQRコード付与等を通じたアクセシビリティ確保				
5. 広報における、アクセシビリティ・観劇サポート・合理的配慮に関する情報提示				
6. 光や音、性表現、暴力シーン等をめぐる事前周知・注意喚起の必要性の検討				
7. アクセシビリティ・観劇サポート・合理的配慮に関する問合せ窓口設置の検討				
XII. チケット予約・販売	ニーズ	予算	人員	バリア
1. チケット予約方法の検討（オンライン予約や電話予約等の組合せ方等）				
2. 予約サポートや観劇サポートをめぐる問合せ用窓口設置の検討				
3. 「車いす席」（車いすで鑑賞できる席や座席に移動しての鑑賞、同伴者対応等）の検討				
4. 「補助犬同伴席」の検討（ロビーでのお預かりニーズについても検討）				
5. 「手話通訳が見やすい席」の検討				
6. 障害等の観点から必要な方向けの「通路側席」の検討				
7. 障害等により1人で複数席が必要な方向けの「複数席」の検討				
8. 客電と音量を調整し、声を出したり、出入りしやすい「リラックス公演」の検討				
9. 当日のニーズに対応できるようにするための「予備席」の検討				
10. バリア等により舞台へのアクセスが限られている方の「招待」の検討				
XIII. 演出プラン	ニーズ	予算	人員	バリア
1. スタッフ・俳優の個性・ニーズに合わせた演出プランの作成				
2. 稽古場での多様性包摂をめぐる建設的対話機会の検討				
3. スタッフ・俳優の多様性に合わせた演出プランのフレキシブルな調整				
XIV. 稽古スケジュール	ニーズ	予算	人員	バリア
1. スタッフ・俳優の個性・ニーズに合わせた稽古スケジュールの作成				
2. 個性・ニーズに合わせた休憩時間の設定				
3. 本番に近い装置を稽古場に組む必要性の検討				
XV. 多様性講習	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 多様性を包摂した芸術の専門家や当事者による演出家への多様性講習の検討				
2. スタッフ・俳優に対する多様性講習の検討				
3. 主要俳優陣に対する多様性講習と当事者・専門家との対話機会の検討				
4. 多様性包摂等に関して、専門家に相談できる体制の検討				

XVI. 顔合せ	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 事前にスタッフ・俳優のニーズを確認した上でのアクセシブルな会場の確保				
2. 紹介で開示する情報は、本人が共有したい情報のみとできるよう配慮				
XVII. 稽古場での稽古	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 事前にスタッフ・俳優のニーズを確認した上でのアクセシブルな会場の確保				
XVIII. 舞台稽古（場当たり・ゲネプロ）	ニーズ	予算	人員	バリア
1. スタッフ・俳優の導線アクセシビリティ、照明・音響、手話通訳、字幕等の確認				
XIX. 舞台・舞台袖・楽屋	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 楽屋、スタッフ・俳優用トイレ、舞台への経路、舞台、袖のアクセシビリティ再確認				
2. 飲食物、差し入れ、プレゼント、ごみ箱等の配置をめぐるアクセシビリティの再確認				
XX. ホワイエ・トイレ等公共エリア	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 劇場入口からもぎり、関係者受付、トイレ、客席等へのアクセシビリティ再確認				
2. 当日の合理的配慮事項の確認と準備				
3. ホワイエにあるトイレの多様性包摂（LGBTQフラッグの掲示等）				
4. ホワイエで、プライバシーを確保できる空間の配置検討				
5. 災害・非常時のアクセシブルな避難経路の確認				
6. 触れるミニチュア舞台装置展示の検討（VI-4）				
XXI. もぎり、当日券販売受付、関係者受付、観客サポート席受付	ニーズ	予算	人員	バリア
1. もぎり、当日券販売受付、関係者受付、観劇サポート席受付の設置（筆談器等設置）				
2. 優先入場の検討				
3. 受付・ホワイエへの多様性包摂について講習を受けたスタッフの配置				
4. スタッフのEMPOWER Project「マゼンタ・スター」（協力者カミングアウト）の着用				
5. 災害・非常時の多様性を包摂した対応想定・訓練				
6. 災害等時（アクセシビリティが低下しやすい）の振替・返金の検討				
XXII. プログラム	ニーズ	予算	人員	バリア
1. プログラム作成時は、切込みやQRコード等を配置する等情報保障法を検討				
2. プログラムのフォント、文字サイズ、ルビの検討				
3. カラー・ユニバーサルデザインの検討				
4. 点字版プログラムの検討				
XXIII. 本番（通常公演）	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 本番中もホワイエにマゼンタ・スター着用スタッフを常時配置				
2. 本番中も劇場内にスタッフを常時配置				
3. ホワイエのモニターでの舞台鑑賞ができるようにすることの検討				
4. 別室観劇ができるようにすることの検討				
XXIV. 本番（リラックス公演）	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 客電と音量を調整し、声を出したり、出入りしやすいリラックス公演の検討（XII-8）				
XXV. トークショー	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 本番前後のトークショーの検討（情報保障の検討も）				
XXVI. 観客の退場	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 優先退場の検討				
2. 閉演後も、ホワイエにマゼンタ・スターを着用したスタッフを配置				
XXVII. 関係者の面会	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 関係者との面会場所のアクセシビリティ確認				
XXVIII. 物販	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 物販場所・方法のアクセシビリティ確認				
XXIX. 取材対応	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 多様性をめぐる表現やアクセシビリティに配慮したプレスリリースの発出				
2. 取材時の本人及び周りのスタッフ・俳優の同意の徹底				
XXX. 悪天候・災害・非常時対応	ニーズ	予算	人員	バリア
1. 災害・非常時のアクセシビリティ確保をめぐる想定・訓練・実施				
2. 災害等時（アクセシビリティが低下しやすい）の振替・返金の検討（XXI-6）				
3. 災害・非常時の情報アクセシビリティ支援				
XXXI. 打ち上げ	ニーズ	予算	人員	バリア
1. アクセシビリティ、アレルギー、文化等、多様性に配慮した会場選択				